

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】 令和4年7月22日

評価対象事業		評価者	こども相談課 菅原 良	
こども-23	小児医療助成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	こども相談課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	0歳～中学校3年生の入・通院した者
意図	医療費を助成することにより、小児の保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。
効果	小児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

・食事療養標準負担額を除く0歳～中学校3年生の入・通院にかかる健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。(小・中学生については一定の所得制限あり。)
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値)	
01	小児医療助成事業	医療扶助費等	助成延件数(件)	214,319 / 250,000	250,000	250,000	
				433,590 / 496,227	670,105	670,105	
02	福祉総合システム運用事業	システム改修業務委託料	—	/	812		
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	54,876 / 60,675	60,013	60,013	
			地方債	/			
			その他特定財源	5 / 30	30	30	
			一般財源	382,216 / 436,334	610,062	610,062	
			事業費の合計(千円)	437,097 / 497,039	670,105	670,105	
		人件費(千円)		22,499	17,203		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.4	2.4	1.9			
会計年度任用職員	3.3	3.3	2.0			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	小児医療助成事業	助成件数の経年変化把握のための指標である。前年の192,501件に対して214,319件と微11%上昇している。令和2年度の新型コロナによる受診控えの緩和の影響と考える。	小児医療助成により子育て世帯の経済的負担を軽減できたことは、施策の方針中、子育て家庭への支援に寄与した。	令和4年4月の医療費から、小学生以上の養育者の所得制限を撤廃した。引き続き、県内各市の動向を注視し、今後の医療費助成のあり方について研究していく。
02	福祉総合システム運用事業	システム運用経費のため、指標設定は行わない。	—	—
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

**(2) 視点別評価**

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1 今後、負担の導入を検討すべき事業がある
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない 協働実施済の場合のパートナー

**(3) 総合評価** ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
今後も医療費助成の適正化に努め、安定的かつ継続的な運営を確保しつつ、福祉の増進に努める必要がある。					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	小児医療助成制度の助成延件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
小児医療助成制度の推進状況の把握のため	目標値	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	
	実績値	192,501	214,319					
	達成率	77%	86%					

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項	一部負担金導入							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	横須賀市	小田原市	横須賀市	葉山町
他市実績	×	×	○	×	×	×	×	×

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内各市の対応状況を把握しながら、必要に応じて今後の対応を検討していく。
----------------------	--------------------------------------